

東海道新幹線 新型自動改札機への取替について

東海道新幹線の自動改札機について、使用開始から約10年経過していることから、順次新型の自動改札機に取り替えます。これにあわせ、お客さまへの案内画面をよりわかりやすくするなど、サービスの向上を図ります。

1. 対象駅・改札通路数

東海道新幹線 全駅（17駅） 計295通路

2. スケジュール

- ・平成26年度上半期中 品川駅に設置
- ・平成26年度下半期～平成28年度上半期
東海道新幹線全駅に順次導入



新型自動改札機イメージ（品川駅）

3. 主な改良点

- ・お客さまへの案内画面をよりわかりやすくするとともに、きっぷのお取り忘れを防止するため、ライトによる表示でご案内をします。
- ・機器本体をスリム化することにより、通路幅を最大で4cm拡張し、大きな荷物をお持ちのお客さまにも、ご利用いただきやすくします。（設備上の制約がある場所を除く）



案内画面をより
わかりやすい表現に

ライトによる表示できっぷ
ができることをご案内

4. 工事費 現在の改札機

- ・約52億円（概算）

新型の改札機